

## 果樹カメムシ類



① チャバネアオカメムシ

【学名：*Plautia crossota stali*】

② ツヤアオカメムシ

【学名：*Glaucias subpunctatus*】

③ クサギカメムシ

【学名：*Halyomorpha halys*】



写真1 被害果（なし）



写真2 被害果断面（なし）

### 【被害と発生生態】

- ・被害作物…果樹全般（なし，りんご，もも，かき，かんきつ等）
- ・発生部位…果実
- ・発生時期…5～10月（最盛期：7～8月）
- ・発生好適条件…スギやヒノキの花粉量が多く，暖冬の年の翌年は多発しやすく，飛来は日没から2時間ほどに集中します。気温も湿度も高い日は多い傾向があります。
- ・症状…幼果では落果しやすい傾向があります。成熟果では加害部が陥没し（写真1），断面はスポンジ状となります（写真2）。

### 【見分け方】

- ① チャバネアオカメムシ…体長 11 mm前後。緑色で翅の部分は茶色
- ② ツヤアオカメムシ…体長 15 mm前後。緑色で背中に白い斑点が無い
- ③ クサギカメムシ…体長 15 mm前後。暗褐色で細かい斑点がある

### 【対策】

- ・夕方か早朝に園内をよく観察し，成虫や被害果を確認した場合は早急に防除してください。